

# 巴西西兩時報

## 大戰を如何に視る

平和は世の常態で、戦争は變態であると云ふことは、是まで屢々本紙上に述べた所であるが、眼前に見る歐洲の大戦、否な、世界的大戦の篝附物で、戦争を離れて生活なく、戦争は則ち平和と錯綜して、世の常態の如く見ゆるのである。

殊に獨逸の主張の如く、戦争の目

的是唯だ勝利ありとし、國際間の約束たる自耳義の中立侵害も、中

立國船舶の無警告撃沈も、赤十字病院船の砲撃も、軍人に非ざる敵國人

の生命財産の奪略も、力の及ぶ所已

が欲する儘に、平氣に而から無難作

る所を見せつけられては、戦争の目的は切取強盜にあるが如く、力

併し之は半面の見方で正鶴を得て

ゐない、云ふ譯は、國として如何

に兵力が強く、財力が裕であつても

歴史が能く之を證明してゐるのであ

る。故に私共は獨逸が現在爲しつゝ

ある處の間違つた振舞を見て、兵力

は是れ絶対の權威なりと速斷しては

讀者記  
送金者の注意すべき事

時報記者様は昨年の六月上旬に日本へ向けて送金しましたが、先達ての手紙で未だ着かないと言つて参りました。一體此の國から日本まで何日で郵便が行きますか、又戦争中何所か途中で滞つて行かない様なことがあるんでしようか、僕の送った金は急ぎの、ですから、實際遅れて困りますが、何とか取調べの方法がないものでしようか、早速教ねて頂きたいのです(大内留四郎)。急ぎの金が着かないとは困りますが、何とか取調べの方法がないものでしようか、早速教ねて頂けます。

日本では普通五十日乃至六十日で郵便が参ります、戦争中だと申ましても手紙は解封して調べることころあれ、無くなると云ふことは郵便船が沈没するか、郵便列車又は郵便局が火災に逢つて郵便物が焼失する等の外は、烟のやうに消へて無なることはない、殊に其れよりも君は送金する時に、何處から、どうして、何處の手を経て送つたかと手紙に書いてないのかに頼んだのですが、總領事館にですか、移民組合にですか、又は銀行にですか、そして爲替を組む時に君自身が出発して右何れが判然しないと返事が出来ません。

無論總領事館や、移民組合の手を経ての送金ならば、間違ひはありません、但し送金人の最も注意しきはならないことは、送金の場合發送人として、必ず本人の姓名を出すことである、近頃總領事館に扱いの送金中、發送人に發送者本人の名を出さず、耕地から依頼の、なんのと云ふ事になるのである。

金した爲めに、國許ではうんな人ある。

から金を送つて来る筈がない。ろんな姓名は曾て聞いたことが無いと云つて受取方を拒絕したので、せずに近路をしようとして却つて目地に到着するのに遅くなると云つて居るのではないか、君の送金も發送したる君の手落から、其の金が手紙で未だ着かないと言つて参りました。一體此の國から日本まで何日で郵便が行きますか、又戦争中何所か途中で滞つて行かない様なことがあるんでしようか、僕の送った金は急ぎの、ですから、實際遅れて困りますが、何とか取調べの方法がないものでしようか、早速教ねて頂けます。

日本には普通五十日乃至六十日で郵便が参ります、戦争中だと申ましても手紙は解封して調べることころあれ、無くなると云ふことは郵便船が沈没するか、郵便列車又は郵便局が火災に逢つて郵便物が焼失する等の外は、烟のやうに消へて無なることはない、殊に其れよりも君は送金する時に、何處から、どうして、何處の手を経て送つたかと手紙に書いてないのかに頼んだのですが、總領事館にですか、移民組合にですか、又は銀行にですか、そして爲替を組む時に君自身が出発して右何れが判然しないと返事が出来ません。

無論總領事館や、移民組合の手を経ての送金ならば、間違ひはありません、但し送金人の最も注意しきはならないことは、送金の場合發送人として、必ず本人の姓名を出すことである、近頃總領事館に扱いの送金中、發送人に發送者本人の名を出さず、耕地から依頼の、なんのと云ふ事になるのである。

金した爲めに、國許ではうんな人ある。

▼衛生講話▲  
マレーク雜話 (七)  
醫師 高岡専太郎

根治療法に就て

マレーク雜話 (七)

醫師 高岡専太郎

根治療法に就て

マレーク雜話 (七)

醫師 高岡専太郎

根治療法に就て

マレーク雜話 (七)

醫師 高岡専太郎

根治療法に就て

マレーク雜話 (七)

醫師 高岡専太郎

根治療法に就て

マレーク雜話 (七)

醫師 高岡専太郎

根治療法に就て

マレーク雜話 (七)

醫師 高岡専太郎

根治療法に就て

マレーク雜話 (七)

醫師 高岡専太郎

根治療法に就て

マレーク雜話 (七)

醫師 高岡専太郎

根治療法に就て

マレーク雜話 (七)

醫師 高岡専太郎

根治療法に就て

マレーク雜話 (七)

醫師 高岡専太郎

根治療法に就て

マレーク雜話 (七)

醫師 高岡専太郎

根治療法に就て

マレーク雜話 (七)

醫師 高岡専太郎

根治療法に就て

マレーク雜話 (七)

醫師 高岡専太郎

根治療法に就て

マレーク雜話 (七)

醫師 高岡専太郎

根治療法に就て

マレーク雜話 (七)

醫師 高岡専太郎

根治療法に就て

マレーク雜話 (七)

醫師 高岡専太郎

根治療法に就て

マレーク雜話 (七)

醫師 高岡専太郎

根治療法に就て

マレーク雜話 (七)

醫師 高岡専太郎

根治療法に就て

マレーク雜話 (七)

醫師 高岡専太郎

根治療法に就て

マレーク雜話 (七)

醫師 高岡専太郎

根治療法に就て

マレーク雜話 (七)

醫師 高岡専太郎

根治療法に就て

マレーク雜話 (七)

醫師 高岡専太郎

根治療法に就て

マレーク雜話 (七)

醫師 高岡専太郎

根治療法に就て

マレーク雜話 (七)

醫師 高岡専太郎

根治療法に就て

マレーク雜話 (七)

醫師 高岡専太郎

根治療法に就て

マレーク雜話 (七)

醫師 高岡専太郎

根治療法に就て

マレーク雜話 (七)

醫師 高岡専太郎

根治療法に就て

マレーク雜話 (七)

醫師 高岡専太郎

根治療法に就て

マレーク雜話 (七)

醫師 高岡専太郎

根治療法に就て

マレーク雜話 (七)

醫師 高岡専太郎

根治療法に就て

マレーク雜話 (七)

醫師 高岡専太郎

根治療法に就て

マレーク雜話 (七)

醫師 高岡専太郎

根治療法に就て

マレーク雜話 (七)

醫師 高岡専太郎

根治療法に就て

マレーク雜話 (七)

醫師 高岡専太郎

根治療法に就て

マレーク雜話 (七)

醫師 高岡専太郎

根治療法に就て

マレーク雜話 (七)

醫師 高岡専太郎

根治療法に就て

マレーク雜話 (七)

醫師 高岡専太郎

根治療法に就て

マレーク雜話 (七)

醫師 高岡専太郎

根治療法に就て

マレーク雜話 (七)

醫師 高岡専太郎

根治療法に就て

マレーク雜話 (七)

醫師 高岡専太郎

根治療法に就て

マレーク雜話 (七)

醫師 高岡専太郎

根治療法に就て

マレーク雜話 (七)

醫師 高岡専太郎

根治療法に就て

マレーク雜話 (七)

醫師 高岡専太郎

根治療法に就て

マレーク雜話 (七)

醫師 高岡専太郎

根治療法に就て

マレーク雜話 (七)

醫師 高岡専太郎

根治療法に就て

マレーク雜話 (七)

醫師 高岡専太郎

根治療法に就て

マレーク雜話 (七)

醫師 高岡専太郎

根治療法に就て

マレーク雜話 (七)

醫師 高岡専太郎

根治療法に就て

マレーク雜話 (七)

醫師 高岡専太郎

根治療法に就て

◎日本近信  
再び百鬼夜行の状

在留外人の避難準備  
▽日本軍艦が頼みの浦鹽港一時浦鹽斯徳の物情は頗る不穏の状であつたから帝國政府は適宜の措置を以て已に軍艦を派遣したが同港に旭日旗の翻るや過激派は非常に之を煙たがつて居つた様であつたが良民は非常に喜んだ様な仕事で來るに至つたが最近に於て又々過激派に屬して居る無類の徒が跋扈し出して來た爲めに住民は更に不安の念を新にするに至り一部では早くも難の準備をするものすらあると云ふ事である最近某方面に到達した電報によると過激派に屬して居る労働者及び軍隊の約四十名は白晝公然隊をして同地第一流の旅館なるブルサイユ旅館を襲ふて滯在旅客の金品約百四十萬留のもを強奪し去り又一方では同じく同様の一隊が税關を襲ふて倉庫に停滯して居つた機關銃を始め各種の武器を税關長が頑強に抵抗したが拘らす之を掠奪し去つたと云ふ有様である斯んな調子で市内は全く百鬼夜行と云ふ状態である然し幸いにも今日迄外國人に對しては過激派は彼等も國際的に厄介な問題の惹起するのを虞して居るものと思ふもう心配する必要はあるまいと某消息通は語る

●戦死したる  
加奈陀で徵兵に應じた日本壯丁：

四十五名

加奈陀政廳が實施した在加奈陀壯丁延いて動物に及び馬糧の如き今や大に對する一般的徵兵令（國籍の如何を問はず）第一回の徵募に應じて歐物の運搬を禁じ書夜市内電車を以て洲大陸に於ける英國戰線に出往した輸送に任する情態になつたと聞くま我同胞壯丁の數は總數四十五名（大部は廣島和歌山縣人）であつて爾一時浦鹽斯徳の物情は頗る不穏の状であつたから帝國政府は適宜の措置を以て已に軍艦を派遣したが同港に旭日旗の翻るや過激派は非常に之を煙たがつて居つた様であつたが良民は非常に喜んだ様な仕事で來るに至つたが最近に於て又々過激派に屬して居る無類の徒が跋扈し出して來た爲めに住民は更に不安の念を新にするに至り一部では早くも難の準備をするものすらあると云ふ事である最近某方面に到達した電報によると過激派に屬して居る労働者及び軍隊の約四十名は白晝公然隊をして同地第一流の旅館なるブルサイユ旅館を襲ふて滯在旅客の金品約百四十萬留のもを強奪し去り又一方では同じく同様の一隊が税關を襲ふて倉庫に停滯して居つた機關銃を始め各種の武器を税關長が頑強に抵抗したが拘らす之を掠奪し去つたと云ふ有様である斯んな調子で市内は全く百鬼夜行と云ふ状態である然し幸いにも今日迄外國人に對しては過激派は彼等も國際的に厄介な問題の惹起するのを虞して居るものと思ふもう心配する必要はあるまいと某消息通は語る

●戦死したる  
加奈陀で徵兵に應じた日本壯丁：

四十五名

危殆を救ふべく  
食糧局を置け

▽最早や對岸の火災視して居れぬ：米價は騰る物資は減る一方：

▽一日をも待てぬ問題△

服部商業會議所書記長談

●日本で消費する

▽一人一年平均一石三四升は食べる▽昨年の實收

米の量

高は平年以上

▲農商務省の發表した實收高は五

千七百八十石即ち三分一厘弱の增收

が更に是を補足する方法として紙の

着物を獎勵し羊毛混紡の布を作つて常用に供し昨一年中十億馬克を生産したと云ふ更に人間の食糧缺乏が

加奈陀政廳が實施した在加奈陀壯丁延いて動物に及び馬糧の如き今や大に對する一般的徵兵令（國籍の如何を問はず）第一回の徵募に應じて歐物の運搬を禁じ書夜市内電車を以て洲大陸に於ける英國戰線に出往した輸送に任する情態になつたと聞くま我同胞壯丁の數は總數四十五名（大部は廣島和歌山縣人）であつて爾一時浦鹽斯徳の物情は頗る不穏の状であつたから帝國政府は適宜の措置を以て已に軍艦を派遣したが同港に旭日旗の翻るや過激派は非常に之を煙たがつて居つた様であつたが良民は非常に喜んだ様な仕事で來るに至つたが最近に於て又々過激派に屬して居る無類の徒が跋扈し出して來た爲めに住民は更に不安の念を新にするに至り一部では早くも難の準備をするものすらあると云ふ事である最近某方面に到達した電報によると過激派に屬して居る労働者及び軍隊の約四十名は白晝公然隊をして同地第一流の旅館なるブルサイユ旅館を襲ふて滯在旅客の金品約百四十萬留のもを強奪し去り又一方では同じく同様の一隊が税關を襲ふて倉庫に停滯して居つた機關銃を始め各種の武器を税關長が頑強に抵抗したが拘らす之を掠奪し去つたと云ふ有様である斯んな調子で市内は全く百鬼夜行と云ふ状態である然し幸いにも今日迄外國人に對しては過激派は彼等も國際的に厄介な問題の惹起するのを虞して居るものと思ふもう心配する必要はあるまいと某消息通は語る

●戦死したる  
加奈陀で徵兵に應じた日本壯丁：

四十五名

危殆を救ふべく  
食糧局を置け

▽最早や對岸の火災視して居れぬ：米價は騰る物資は減る一方：

▽一日をも待てぬ問題△

服部商業會議所書記長談

●日本で消費する

▽一人一年平均一石三四升は食べる▽昨年の實收

米の量

高は平年以上

▲農商務省の發表した實收高は五

千七百八十石即ち三分一厘弱の增收

が更に是を補足する方法として紙の

着物を獎勵し羊毛混紡の布を作つて常用に供し昨一年中十億馬克を生産したと云ふ更に人間の食糧缺乏が

危殆を救ふべく  
食糧局を置け

▽最早や對岸の火災視して居れぬ：米價は騰る物資は減る一方：

▽一日をも待てぬ問題△

服部商業會議所書記長談

●日本で消費する

▽一人一年平均一石三四升は食べる▽昨年の實收

米の量

高は平年以上

▲農商務省の發表した實收高は五

千七百八十石即ち三分一厘弱の增收

が更に是を補足する方法として紙の

着物を獎勵し羊毛混紡の布を作つて常用に供し昨一年中十億馬克を生産したと云ふ更に人間の食糧缺乏が

危殆を救ふべく  
食糧局を置け

▽最早や對岸の火災視して居れぬ：米價は騰る物資は減る一方：

▽一日をも待てぬ問題△

服部商業會議所書記長談

●日本で消費する

▽一人一年平均一石三四升は食べる▽昨年の實收

米の量

高は平年以上

▲農商務省の發表した實收高は五

千七百八十石即ち三分一厘弱の增收

が更に是を補足する方法として紙の

着物を獎勵し羊毛混紡の布を作つて常用に供し昨一年中十億馬克を生産したと云ふ更に人間の食糧缺乏が

危殆を救ふべく  
食糧局を置け

▽最早や對岸の火災視して居れぬ：米價は騰る物資は減る一方：

▽一日をも待てぬ問題△

服部商業會議所書記長談

●日本で消費する

▽一人一年平均一石三四升は食べる▽昨年の實收

米の量

高は平年以上

▲農商務省の發表した實收高は五

千七百八十石即ち三分一厘弱の增收

が更に是を補足する方法として紙の

着物を獎勵し羊毛混紡の布を作つて常用に供し昨一年中十億馬克を生産したと云ふ更に人間の食糧缺乏が

危殆を救ふべく  
食糧局を置け

▽最早や對岸の火災視して居れぬ：米價は騰る物資は減る一方：

▽一日をも待てぬ問題△

服部商業會議所書記長談

●日本で消費する

▽一人一年平均一石三四升は食べる▽昨年の實收

米の量

高は平年以上

▲農商務省の發表した實收高は五

千七百八十石即ち三分一厘弱の增收

が更に是を補足する方法として紙の

着物を獎勵し羊毛混紡の布を作つて常用に供し昨一年中十億馬克を生産したと云ふ更に人間の食糧缺乏が

危殆を救ふべく  
食糧局を置け

▽最早や對岸の火災視して居れぬ：米價は騰る物資は減る一方：

▽一日をも待てぬ問題△

服部商業會議所書記長談

●日本で消費する

▽一人一年平均一石三四升は食べる▽昨年の實收

米の量

高は平年以上

▲農商務省の發表した實收高は五

千七百八十石即ち三分一厘弱の增收

が更に是を補足する方法として紙の

着物を獎勵し羊毛混紡の布を作つて常用に供し昨一年中十億馬克を生産したと云ふ更に人間の食糧缺乏が

危殆を救ふべく  
食糧局を置け

▽最早や對岸の火災視して居れぬ：米價は騰る物資は減る一方：

▽一日をも待てぬ問題△

服部商業會議所書記長談

●日本で消費する

▽一人一年平均一石三四升は食べる▽昨年の實收

米の量

高は平年以上

▲農商務省の發表した實收高は五

千七百八十石即ち三分一厘弱の增收

が更に是を補足する方法として紙の

着物を獎勵し羊毛混紡の布を作つて常用に供し昨一年中十億馬克を生産したと云ふ更に人間の食糧缺乏が

危殆を救ふべく  
食糧局を置け

▽最早や對岸の火災視して居れぬ：米價は騰る物資は減る一方：

▽一日をも待てぬ問題△

服部商業會議所書記長談

●日本で消費する

▽一人一年平均一石三四升は食べる▽昨年の實收

米の量

高は平年以上

▲農商務省の發表した實收高は五

千七百八十石即ち三分一厘弱の增收

が更に是を補足する方法として紙の

着物を獎勵し羊毛混紡の布を作つて常用に供し昨一年中十億馬克を生産したと云ふ更に人間の食糧缺乏が

◎イグアペ地方巡遊記

◎寄書

(六)「レヂストロ」滯在所見

▲最初の一日起され、喫驚り跳起して朝の六時と云ふ滅法

早いに、下り船の「カンザット」號が植民の荷物を積んで行つて來たので

大急ぎに波止場へ行けば、モー船は棧橋に着いて居た。

荷物の陸上が始まるこ、一時波止場は蒸ねくり返れる程脇やかであつた

數を調べて間違ふのなきを見届けた私は、白鳥さんに伴はれて朝餉の珈琲飲みに行つた、伯刺西爾の珈琲の甘味のは今更ら吹聴するまでもないが、白鳥さん手製の寫真を澤山に見し、其の撮影かたが如何にも鮮明で、美術的であつたので、是れでは立人も跋足だ、つづく感心するのであつた。

其の後から「レヂストロ」の景勝第一とも云ふ、岡の小高い所に建てられた二階造りの堅牢な植民收容所に行つて見た、今日は生憎の雨天、うれ

なうは、吾れに何等の關係なしと云つた調子で、百人一首の歌碑で輸入を決し、「田子の浦」……、百敷や……などと一方で読み上

げれば、他方では「ハイ有りました」やが事實は果して如何。

書食後新來植民に向つて、白鳥支店長より入植に關する注意があると云ふので、私も事務所裏の集合所に行つて見た、うして白鳥支店長と、北島ドクトルと、藤田技師長とがうち其の立場に依り大體左の題目の下に懇切なる訓諭があつた。

白鳥支店長より  
(イ)資本家と労働者との關係  
(ロ)當會社の方針に就き



千年萬年(下)

せんねん

わんねん



婦人欄

近來當館の依頼を受けたる者又は當館々員なりと詐  
稱して耕地或は植民地に入り込み在留民殊に新來植  
民又は移民に對し或は國許への送金を勧め或は物品  
購入の依頼に應じ彼等より金員を詐取する悪漢横行  
する由なるが當館に於ては送金者が自ら出頭するか  
又は本人が書面を以て直接願出する場合の外總て之  
を取扱はざる事成相り居り候又右の外在留民の金  
品に關して何等依頼に應ずる事なきは勿論之れが爲  
めに特に館員又は囑託員を地方に派遣する事決して  
無之候に付き爾今在留民は能く本告示の趣旨を承知  
し惡漢の詐欺に掛からざる様注意可有之尙ほ今後此  
の種の惡漢出現候節は時機を失せず其者の所屬府縣  
及び氏名等當館に御通知可相成候也

在サンバウロ  
帝國總領事館

# 大阪商船會社

三月八日(四月廿八日)リオ港着  
神戸出帆(四月卅日)サントス港着豫定  
五月上旬神戸出帆豫定  
五月上旬サンントス着豫定

日本郵船會社  
○直航移民船

○たこま丸

三月上旬神戸出帆豫定  
五月上旬サン・トス着豫定

# 日本郵船會社

## ○直航移民船

四月上旬神戸出帆  
六月上旬サン・トス着豫定

御用の方は左記の中何れへなり御照會ありた  
し

**ANTUNES DOS SANTOS & COMP.**  
AGENTES DAS COMPANHIAS  
NIPPON YUSEN KAISHA :: OSAKA SHOSEN KAISHA

NIITON YUSEN KAISHA :: OSAKA SHOSEN KAISHA

---

一 御 司

御用

# アマゾンの本草

ノン 方 直全 カミミ

郵便局  
精月

卷八 出三

# 日 帆

四  
四

中 月 三品 五品  
日 月 月 月 月  
四品 六品 八品 十品  
何 哪 何 哪 何  
爾 爾 爾 爾 爾  
Poo Poo Poo Poo Poo  
libee libee libee libee libee

組りサ神舟  
サ神丸シリヌ

支 拠 照 倉 出 ト パイ

港着

會 豫 豫 豫

社 定 た 定 定 定

A decorative horizontal border element consisting of a repeating pattern of stylized, symmetrical motifs. Each motif appears to be a combination of a circular element and a more complex, possibly floral or geometric, shape nested within or adjacent to it. The entire border is rendered in a dark, monochromatic color.